



新規就農パンフ

とよورا町で  
未来をつくる



豊浦町で農業を。

TOYOURA Farmers

多くの新人農家さんが  
ここからスタートできるように  
この学校から沢山の夢が  
生まれることを願っています。

豊浦町地域産業連携拠点施設「いちご分校」は、地方創生事業を活用し、廃校になった旧大岸小学校鉦山分校を改修した施設です。

「農業研修施設」「加工販売施設」「交流施設」で構成され、農業研修による新規就農者の育成により農業の担い手を確保し、6次産業化の推進により異なる産業を連携させることによって、地域コミュニティを活性化させ、移住・定住者の増加を図ることを目的としています。



豊浦で農業研修  
大岸地区に完成。

ここから始まる

本気の夢を応援します



## 火と料理を囲みながら

豊浦町地域産業連携拠点施設『いちご分校』でいちご農家の佐藤さん、オリーブ農園を目指す木村さんご一家にお話を伺いました。



暖炉の火囲み、佐藤さんお手製のいちごジュースで乾杯！

なぜ豊浦町で農業を始めよう？

### 木村よしあきさん

僕は広島のオリーブを育てる会社において、いずれ故郷の北海道でもオリーブを育てたいと思っていました。それで日照時間や降雨量とかを事前に調べて、道内の適地を色々回っていたんです。ただ、どこの町に行ってもミニトマト農家になってと言われました(笑)

### 木村かなこさん

当時、私は広島で医療系の仕事をしていて。その時会社で見た業界紙に、国産生薬がこれから伸びる！という情報が載っていて、その話を主人にしました。



豊浦町にはチャレンジを  
応援してくれる  
すごい農家さんがいたんです！



北海道でオリーブを！その挑戦が続く木村さんご家族。2020年春に北海道産オリーブ葉を使用した化粧品ブランド「セキレイ」を立ち上げました。活動的なお二人は町のイメージを明るくしてくれています。

# 移住+農業

新規就農したご家族に  
今を聞きたい！

豊浦町に  
移住して  
5年目

豊浦町に  
移住して  
6年目

日本最北端の  
オリーブ農家  
兼薬草農家  
木村佳晶さん  
桜農園 ご家族 (広島から移住)

<https://se-kirei.com/>  
オリーブ葉を使用した化粧品

有機いちご農家  
G.S.W  
grow.seed.works  
佐藤英貴さん  
ご家族 (宮城から移住)

たねびと

[www.facebook.com/grow.seed.works](http://www.facebook.com/grow.seed.works)

佐藤さんはどうでしたか？

### 佐藤ひできさん

自分は宮城の石巻市で会社員、妻はお店を経営していました。

そして東日本大震災があって、その時子供はまだ2歳。震災後は復興に向けて頑張っていたんだけど、やっぱり食べる物や外での遊びも気になるようになって、日常生活の不安が常にありました。だけど仕事を辞めてまで移住は無理かなと。

### 佐藤りつ子さん

でも子供には不安なく遊ばせてあげたくて、調べたら豊浦のシュタイナー学園のサマースクールがあり、旅行も兼ねて思い出づくりに参加してみました。来てみたら、ほんと良かった。

震災の影響もあって、もう本当に豊浦町は違う世界に感じました。それですぐ妻が移住しようとなって。でも最初、妻は移住するなら沖縄が良いって言ってたんだけどな～。寒い嫌だって(笑)

すぐに、当時経営してたお店の引き継ぎも済ませて、先に私だけ来ました(笑)

半年後に自分が来たんだけど、本当にノープランで移住。ただ、食に関わる仕事で起業を考えていた。来た時に、たまたま役場の臨時職員になって、その時に豊浦町はいちごが有名なんだと知って。農家さんに関わるうちに自分も生産者になりたいという想いになった。まったく農業のことは分からないから完全0からのスタート。でも、自分が作るんだしたら無農薬でいちごを作りたい。それは被災した時に感じた『食への不安』。その体験があったから挑戦しなきゃならなかった。



知らない土地、人との関わり、色々大変だったと思いますが。

その時は地域の人に受け入れられるとかは考えていなくて。移住は色々気になる出来ないんじゃないかな。自分たちは海と山と、100m範囲でしか豊浦を見てなかったかも(笑) 勢いで決めたから。

挑戦も大事だけど、同時にしっかりした土台も必要だと考えていた時期にその話を聞いて。それで北海道でも薬草を栽培している所がないか調べたら、豊浦町にあったんです。

その薬草農家さんと話をしてみると、自分の挑戦をすごい応援してくれて。しかも、後継ぎを探していたので、すぐに弟子入しました。もう、ここしかないって自分が納得した町が豊浦町だったんです。

ご主人が移住先を探してた1年間、奥さんは広島で待っていたと伺いました。その時はどう思っていましたか？

寂しくもあったんですが、毎日連絡をくれて。夫からの報告が嬉しかったです。頑張ってるな～って。夫の夢を応援したくなりました。

たねびとの苺  
時期 4月下旬～6月末まで



お二人とも農業という職を選ばれて、率直に良かったですか？

僕は農家になって良かったですね。広島では仕事が忙しく、土日も出勤する事が多かったので、今は家族の時間が圧倒的に増えました。

農繁期はとても忙しいですが、自分たちで働き方を調節できますし、家と畑が近いので、何かあればすぐ家族の元へ帰って来れる。子供との時間も作りやすく、子育てには良い環境だと思います。

自分たちも宮城ではお互い仕事の時間が合わず、なかなか一緒に時間がなかった。豊浦に来て家族の時間が増えたよね。私生活と仕事はごっちゃになったかもだけど(笑)

そういう意味では幸せですね。まだまだ満足はしていないけど(笑)

自分たちの畑で採れた農作物を調理してみんなで食べる。これも農家の魅力です。



これから移住を考えている方にアドバイスがあれば教えてください。

豊浦町や移住とか抜きにして、自分のやりたいことを考えた結果、移住していた。というのが良いと思います。

移住した時は夫婦二人でしたが、この町で子供が二人生まれました。この子供達にとっては豊浦町が故郷なんです。この子供達の為にも、この素敵な町に何が出来るんだらう。私達の行動が「小さなきっかけ」の一つになれば嬉しいです。私達が移住する際には地域の方も役場の方も、町民皆さんに快く迎え入れて頂きました。私達にとって豊浦という町は優しく暖かい町です。どうかこれから来る方にも、そのことを知ってほしい。

あと、ある日いきなり子ども神輿が家に来ます。その時はお賽銭の用意をするように。初め知らなくてビックリした(笑)

それ、ありました。事前に誰かに教えてほしい(笑)

一同大爆笑

震災の経験。それがあったから  
チャレンジしななければ  
ならなかった。



豊浦町地域産業連携拠点施設

# いちご分校

研修用ビニールハウス



## 出荷調整室

出荷及び調整作業ができる空間として整備。屋外作業の出入口付近には、道具置場、専用トイレ、洗濯乾燥室、物入を設置。



昔の体育館を改装した出荷調整室。冷蔵庫と冷凍庫もあります！

農家に興味がある方には嬉しい設備！実際に農業を体験して、一泊して。自然に囲まれて迎える朝は気持ちいい一言！是非、ご利用して下さい。

自然とともに生きる！農家になろう



研修や会議などに

## 研修室

農業研修（座学、発表等）の他に、地域とのコミュニケーションスペース（集会所機能）



## フリースペース

学校の教室みたいな隣の加工室で製造した物を販売したりできるフリースペース。



## 事務室

運営組織等の事務室。農業の中心施設になればいいな～



## 農業体験！宿泊も出来る！

簡易宿泊室は、2室を設置。就農希望者や移住希望者の農業体験を受け入れ。



## 加工品にチャレンジ

農産物の加工スペース。6次産業化を目指す方のスタート支援！ここで新しい特産品が生まれるかも。



ご宿泊農業体験ができます！※ご利用はご予約が必要です。事前にお問合せ下さい。

お問合せ先 豊浦町役場 産業観光課農林係 ☎0142)83-1410 まで

## いちご農家になりませんか？

私たちは豊浦いちごブランドを守る一人として活躍し、地域の方々と共に歩むことが大事だと思っています。いちごを通して大岸地区、町が盛り上げれば嬉しいです。また、新しいことにも地域の方、そして、これから来る新しい農家さんたちと一緒にチャレンジして行きたいと思っています。



## 豊浦町で農家になる！

地域おこし協力隊 農業支援員 星雄介さん・明子さん

豊浦町で地域おこし協力隊の農業支援員として活動しています。豊浦町に来る前は札幌で会社員をしていました。いつか農業を営みながら自然の中で暮らし、子育てをしたいと思っていました。子供が小学校に入学する年に念願だった夢を叶えるため、タイミングよく募集をしていた豊浦町に来ました。任期中に農業を学び、豊浦町大岸地区で農家を目指します！

# 夢を応援します。

大きく実りますように

## 豊浦町が新規就農をサポート

Q. 豊浦町の特産は何ですか？

A. 町の三大特産「いちご・豚肉・ホタテ」

農業・漁業の盛んな豊浦町。豊かな産地として知られております。ブランドいちごとして大人気の「豊浦いちご」。旬の5～6月の時期になると、その味を求めてたくさんの方が訪れます。今では北海道を代表するいちごの名産地となりました。酪農も盛んに行われており、ジュシーで柔らかい「とよらポーク」も道内屈指の出荷量を誇ります。

Q. 農家やりたいけど、不安だな…？

A. まずは情報交換。ご連絡ください。

やはり、知らない土地に来て暮らすというのは不安だと思います。私たちが可能な限り、相談や情報をお知らせし、少しでも不安を取り除けるように努めます。新規就農をお考えの皆様には、これからの豊浦町の農業を町と一緒に盛り上げて欲しい。地域みんなで知恵を出し合い「豊かな豊浦町」を共に創っていきましょう。何年後かには、新たな特産品も登場してるかもしれませんね。

Q. どんな作物が作れるの？

A. 土壌にマッチした葉菜・根菜・米に麦。

北海道の中でも比較的温暖な豊浦町。昼夜の寒暖の差が作物を甘く美味しく育てます。各農家さんのチャレンジ次第で本当にたくさんの作物が栽培されています。町として「新たな産地」を皆様と一緒につくっていきましょう。

## 就農地 あっせん

農業委員会と連携し、農地の取得をお手伝い

## 経営継承 研修助成

経営継承の場合 研修経費に助成 (最大 250万円)

## 研修資金貸付

5年以上の営農継続で償還免除あり (最大 250万円/年)

## 初期投資

農業経営に必要な農用地等の取得に係る初期投資に対する助成 (最大 250万円)

## 営農支援助成

不安定な就農初期段階の農業経営に対する助成 (最大 90万円/年 ※5年間)

## 農地及び農業用施設賃貸借助成

農用地及び農業用施設の賃貸契約を締結する期間の賃借料に対する助成

## 固定資産税助成

農用地等を取得後、最初に賦課された固定資産税に対する助成

## 住宅賃貸借助成

これは嬉しい住宅賃貸借料に助成します

## 販路開拓支援

マイファームと連携して販路の開拓、確保を支援します

## 豊浦町へのアクセス



### 車をご利用の場合

札幌から	国道230号	約2時間
函館から	高速道路・国道37号	約2時間30分
新千歳空港から	国道37号	約2時間30分
	高速道路	約1時間30分
苫小牧フェリーから	国道37号	約2時間40分
	高速道路	約2時間

### JRをご利用の場合

札幌から	特急北斗・スーパー北斗 (洞爺から普通列車に乗り換え)	約2時間10分
南千歳から	特急北斗・スーパー北斗 (洞爺から普通列車に乗り換え)	約1時間45分
	※新千歳空港から南千歳まで快速エアポート	
函館から	特急北斗・スーパー北斗 (洞爺から普通列車に乗り換え)	約2時間10分

### 東京から北海道新幹線をご利用の場合

東京	北海道新幹線	新函館北斗	北斗・S北斗	洞爺	普通列車	豊浦	約6時間
----	--------	-------	--------	----	------	----	------

## 豊浦町役場 産業観光課農林係

〒049-5492 北海道虻田郡豊浦町字船見町10番地  
TEL.0142-83-1410(直通) FAX.0142-83-2129  
E-mail nousei@town.hokkaido-toyoura.lg.jp  
URL http://www.town.toyoura.hokkaido.jp

## (公財)北海道農業公社担い手支援部 北海道農業担い手育成センター

〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
TEL.011-271-2255 FAX.011-271-3776  
E-mail nec@ninaite.or.jp  
URL http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/